

第23回札幌市障がい者スポーツ大会（すずらんピック2023）
身体障がいの部 ボッチャ競技 出場申込書

《 出場申込要領 》

1. 目的

本大会は、障がい者がスポーツを通じて体力の維持、増進、機能回復を図り、この大会に参加し競技等を通じスポーツの楽しさを体験するとともに、市民の障がい者に対する理解を深め、障がい者の社会参加を推進させることを目的とする。

2. 大会開催日、会場

開催期日	競技種目	会場
9月24日（日）	ボッチャ	札幌市身体障害者福祉センター（西区二十四軒2条6丁目） ※身体障がいの部

3. 申込・問合せ先

【身体障がいの部】

札幌市障がい者スポーツ協会	
〒063-0802 西区二十四軒2条6丁目1-1	札幌市身体障害者福祉センター内
電話番号 612-1184	

申込受付期間	令和5年7月3日（月）～21日（金）必着
--------	----------------------

※期限を過ぎますと申込みすることができませんのでご注意ください。

《お知らせ》

新型コロナウイルスによる感染の状況によっては、札幌市障がい者スポーツ大会が開催されない場合がありますので、ご理解をお願いいたします。

4. 参加者及び出場資格

- (1) 令和5年4月1日現在、13歳以上の方。
- (2) 身体障害者手帳の交付を受けている方。
- (3) 札幌市内に現住所（住民票のある地）を有する方、または市内の施設や学校等に入所及び通所並びに通学している方。

※引率が必要な選手には、必ず付添いをお願いいたします。

5. 参加申込方法

- (1) 出場希望者は、別紙「出場申込書」に必要事項を記入し、学校、施設等で取りまとめのうえ、申込先へ郵送または持参して下さい。

なお、個人で参加の場合は、直接申込先へ郵送または持参して下さい。

※FAXでの申込みはできません

- (2) 選手が競技する上で必要な競技アシスタントや付添等の選手関係者は「出場申込書」の裏面に必要事項を記入して下さい。

※申込時に申請がない場合は、大会当日、会場に入場することができませんのであらかじめご了承下さい。

6. 申込受付期間

令和5年7月3日（月）～21日（金）必着

※申込受付期限を過ぎますと申込みできませんのでご注意ください

※申込締切後の出場希望種目の変更は認められませんのでご注意ください。

7. 競技規則

日本ボッチャ協会競技規則及び全国障害者スポーツ大会競技規則を準用します。

8. 表彰

1位から3位までに入賞した選手に対し入賞メダルを授与する。また、入賞者以外に敢闘メダルを授与する。

9. 健康・安全管理

大会参加にあたっては、自己の責任において健康及び安全に十分留意すること。
引率が必要な選手には、必ず付添いをお願いいたします。

なお、主催者においては、参加者を対象に傷害保険に一括加入し、応急の処置のみを行う。

10. 参加料 無料

11. 新型コロナウイルス感染症防止対策について

本大会を安全安心に開催するため、新型コロナウイルス感染症防止対策を行います。
つ競技を実施します。

(1) 大会実施方法の変更

- ・開閉会式や表彰式を簡略化し、セレモニーは割愛します。
- ・感染リスクを減らすため、参加競技種目や定員の制限、分散開催など、各競技の実施方法を変更します。
- ・介助者は必要最小限とし、有観客とします。

(2) 参加者が遵守すべき事項

- ・入場者について、大会関係者の他は、選手と選手が競技する上で必要な「介助者」や付添等のための「選手関係者」に限定します。
- その他の「選手関係者」「観覧希望者」については競技会場内に入場できませんので、観覧席等で観戦をお願いいたします。
- ・当日、受付時に体温測定を行う他、手洗い、手指の消毒など感染防止対策にご協力下さい。
- ・体調がよくない等の場合は、自主的に参加を見合わせてください。体調や感染リスクの有無により、入場をお断りする場合がありますのでご了承ください。
- ・マスクを持参し、競技を行っていない場合はマスクを着用して下さい。
- また、タオルやハンカチを持参して下さい。
- ・スポーツ中に、唾や痰を吐くことは極力行わないで下さい。
- ・タオルの共用はしないで下さい。
- ・会場内の食事は禁止です。

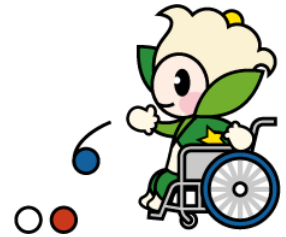
- ・熱中症を避けるため、水分補給を心がけて下さい。
- ・ゴミは基本的にお持ち帰り下さい。
- ・競技が終了した選手は、速やかに退場して下さい。
- ・対策を講じてでも感染リスクをゼロにすることはできないことを理解し、主催者は参加者の新型コロナウイルスの感染に対する一切の責任を負わないことに同意の上、参加して下さい。
- ・感染防止のため主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従って下さい。

12. その他

- ・各会場の駐車場スペースには限りがありますので、会場までは、公共交通機関のご利用をお願いいたします。
- ・出場者の組合せ等は、各種目別に申込者の性別、年齢等により大会事務局で行います。
- ・申込人数や会場の都合により、競技時間、種目等の変更や調整を行う場合がありますので、あらかじめご了承承願います。
- ・服装は、競技に適したものを着用して下さい。（競技アシスタントの方も、ジャージ等動きやすい服装でお願いします。）
- ・当日は、選手受付開始の時間前に、会場に入ることにはできませんので、ご了承下さい。
- ・同日に開催していない他の競技には出場することができますので、奮ってご参加下さい。
- ・札幌市障がい者スポーツ協会のホームページから、出場申込書等のダウンロードができますのでご活用下さい。
- ・出場申込書等が不足した場合は、コピーしたものを使用して下さい。
- ・出場申込書の記載例がありますので参考にして下さい。
- ・個人情報については、本大会以外の目的で使用いたしません。また、競技中に撮影した写真を機関紙等に掲載することがありますので、ご了承下さい。

13. 競技について

ボッチャ競技



① 日程

選	手	受	付	9:00 - 9:30
開	会	通	告	9:45 -
競			技	(プール戦)
閉	会	通	告	(全競技終了後ただちに実施)

※選手受付開始の時間前に会場に入ることにはできませんので、ご了承ください。

② 競技種目

・座位、立位で、トーナメント戦またはリーグ戦で試合を行います。

※競技の組合せについては、事前に事務局で決定します。

③ 競技方法

※規則については、日本ボッチャ協会競技規則及び全国障害者スポーツ大会競技規則を準用します。

- (1) 1ゲーム2エンドで試合を行います。
- (2) 1エンドの持ち時間は6分とする。
- (3) コイントスにより、投球順序(使用するボールの色)を決定する。
- (4) 試合球は、主催者の用意したもの、あるいは選手が用意したものでもよい。
- (5) 投球補助具(ランプ)は、選手が用意したものを使用すること。
- (6) 車椅子、競技アシスタント、補助具などがスローイングボックスのラインに触れる、もしくはボックスの外に足や補助具が接地した状況で投球した場合は、ペナルティとなる。
- (7) ゲーム中、選手と競技アシスタント、その他関係者と不適切なコミュニケーションをとった場合は、ペナルティとなる。
- (8) 競技アシスタントに必要な競技者は、各自の責任において手配すること。
※申込時に必ず申請すること。
- (9) 付添等の選手関係者の方は、競技会場外における選手の誘導をお願いします。
※申込時に必ず申請すること。
- (10) ゲーム終了時、同点の場合はタイブレークを行う。

④ 競技者の招集

- (1) 競技者の受付は、招集場所にて行う。
- (2) 招集時間は、試合時間の5分前とする。
※試合の進行状況によっては、変わる場合もあるので注意すること。
- (3) 招集時間に遅れた者は、棄権とする。

⑤ 大会参加にあたって、注意事項等

- (1) 競技に必要なゼッケン、プログラムは、当日受付時にお渡しします。
- (2) スポーツをするのに適した服装でお願いします。(競技アシスタントの方も、ジャージ等動きやすい服装でお願いします。)
- (3) 貴重品等は、各自で保管管理等をお願いします。

⑥ 新型コロナウイルス感染症防止対策

- (1) 選手が競技する上で必要な「競技アシスタント」や選手の付添等のため必要な「選手関係者」については、「競技アシスタント・選手関係者入場申請書」を提出して下さい。

なお、新型コロナウイルス感染症防止対策のため「競技アシスタント」は競技会場内に入場することができますが、「選手関係者」については競技会場内に入場することはできませんので、観覧席等で観戦をお願いします。

※「競技アシスタント」や「選手関係者」については、事前に申請がない場合は、当日会場に入ることができませんのでご了承承願います。

○ボッチャ 障がい区分表

◎男女区別・年齢区分なし

		区分 番号	障害区分・解説	競技スタイル		
				立位	座位	
肢 体 不 自 由	I	1	多肢切断・両下肢完全で立位 【解説】三肢以上を切断し、義足等を使用して立位で競技する者、もしくは下肢の3大関節(股・膝・足関節)全てに機能障害があり、長下肢装具を使用して立位で競技する者	◎		
		II	2	第6頸髄まで残存 【解説】肩関節周辺(の)筋力はほぼ正常な四肢麻痺者(肘関節の屈曲と手関節の背屈は正常)		◎
			3	第7頸髄まで残存 【解説】肩関節周囲(の)筋力がほぼ正常な四肢麻痺者(肩関節と肘関節、手関節の背屈と掌屈が正常だが、物がにぎれない)		◎
			4	第8頸髄まで残存 【解説】肩関節周囲(の)筋力はほぼ正常で指の曲げ伸ばしも可能な四肢麻痺者(把持能力はあるが、指を強く開いたり閉じたりできない)		◎
			5	多肢切断 【解説】三肢以上を切断し、車いすや椅子に座った姿勢で競技する者		◎
	III	6	四肢麻痺で車いす常用 【解説】四肢に著しい可動域制限や協調運動障害がある者で両上肢駆動による車いす使用者		◎	
		7	けて移動 【解説】両上肢の障害が重度のため両下肢または片下肢で車いすを駆動させる者		◎	
		8	片上下肢で車いす常用または、使用 【解説】片側の(の)上肢と下肢で車いすを操作する者		◎	
		9	その他走不能 【解説】杖や下肢装具の使用の有無に関わらず、走ることが不可能な者	◎		
	IV	10	電動車いす常用 【解説】四肢体幹機能障害により日常的に電動車いすを使用している者		◎	

- ※ 座位とは、車いす及び椅子に座った競技スタイルを言う。
- ※ 座位で競技する選手(区分2～8および10)で、移動したり、方向を変えたりすることが機能的に困難な者及びランプ使用者について、選手1名につき1名の競技アシスタントを認める。
- ※ 立位で競技する選手については、安全上の配慮から、投球時以外はボックス内に椅子を準備し、座位にて待機してもよい。